

【知事定例記者会見】 4月26日（金）

春の園遊会に8年ぶりに出席した。天皇皇后両陛下をはじめ、10名の皇室の皆様とお話ができ、天皇皇后両陛下から「今年はいよいよ佐賀ですね」と、お言葉があった。秋篠宮皇嗣殿下からは、「家族が佐賀でお世話になった」とのお言葉。紀子妃殿下は、7年前にオランダのローレンティン妃との有田訪問を覚えておられた。今年、佳子様の今右衛門窯へのご訪問があり、秋篠宮家にとって有田が思い出の地になっていることを嬉しく思った。過去には、眞子さまにもお越しいただいた。

愛子様には、私が赤十字の話をする、「佐野常民ですね、最初に勉強しました」と、日本赤十字社の創設者が佐野常民であることを学ばれていた。佐賀にお成りいただく日を楽しみにしたい。

● SAGA2024 国スポ・全障スポ

まちなかも SAGA2024 にモードスイッチ

国スポまで162日、全障スポまで183日となった。

2年前、JR九州古宮社長に、佐賀駅の鉄骨の腐食が目立つ防風スクリーンの改修を提案。国スポまでにやろうと快諾してもらい、防風スクリーンが美しくなった。

さらにJRの提案で、防風スクリーン部分に SAGA2024 のラッピングが実現した。これは、JR九州では初めての試み。ゴールデンウィーク明けには、南口も同様にラッピングされる。

また、4月17日から佐賀市と共同で、サンライズストリートの街路灯をフラッグで飾っている。

新しい大会へのチャレンジ “ナイトゲーム”

ナイトゲームを追加する。嬉野市で開催される国スポのスリング成年男子・女子。全障スポでは、バレーボール（身体）、陸上競技を夜間に行う。

夜間ゲームにすることで、多くの人が観戦でき、新たなスポーツの魅力を感じてほしい。さらなる追加も調整中、整理ができ次第発表する。

全障スポ正式競技リハーサル大会が始まります

4月28日、6月8日、9日に開催。団体競技は、開催県として全競技に参加できる。個人競技は、佐賀県代表をかけた熱い戦いが繰り広げられる。

全障スポ前哨戦となる熱い戦いを、県民の皆さんもぜひ応援してほしい。

「すべての人に、スポーツのチカラを。」前例のない新しい大会を、みんなで楽しもう。

- 「新産業集積エリア唐津」株式会社佐賀鉄工所が進出！

進出企業 佐賀鉄工所

場所は、厳木町簀木（うつぼぎ）。佐賀鉄工所は、売上高約 800 億円、従業員約 2000 名の大企業。拠点は、県内 3 か所、藤沢市、海外にも展開している自動車製造に不可欠な精緻なボルトのトップメーカー。

佐賀工場を唐津に移転し、EV化に対応した新製品の開発、製造。また、他工場の集約も検討中。操業開始は 2027 年、移転完了は 2030 年。

交通至便の場所にもかかわらず、誘致がうまく進まなかった。今回は、いい企業に入ってもらった。感謝している。

好調な誘致を背景に産業団地を新たに確保

6月9日、小郡鳥栖南スマートICが開通する。スマートICを出て、左折するとサザン鳥栖クロスパーク。右折すると、コストコ建設予定地がある。

サザン鳥栖クロスパークの 34ha は、まだ造成前。民間 3 社と連携し、鳥栖市とともに工業団地を造っていく。

造成済の産業団地も 3 年で 4 分の 1 に減少。さらなる企業誘致に取り組みたい。特に、東部地域は引く手あまた。市町と連携して戦略的企業誘致を促進したい。

交通アクセスの良さ、パーマネントスタッフ制度（職員が移動しても企業担当は継続）があり、自然災害が少ない、実直で優秀な人材が豊富（工業系学科に在籍する高校生の割合が日本一）という強みがある。

本県の企業誘致のキャッチコピーは、「佐賀人は、器が違う。」

- 新緑きらめく 九年庵春の一般公開

九年庵の春の一般公開は 5 月 4 日～ 6 日。贅沢なひとときをお過ごしください。

- 「合理的配慮の提供」をご存じですか？

障害者への合理的配慮の提供が、4 月から民間事業者も義務化された。

合理的配慮は、正解が 1 つではないから難しい。例えば、スロープがない飲食店で車いすのお客様に対して、簡易的なスロープを用意したり、お店の人が車いすを持ち上げまじょうと提案したり、段差のないお店を紹介したり、テイクアウトがあると案内するなど、コミュニケーションを取りながら一緒に考え解決を図る。話し合い、共生社会を実現することが大事。県で作成した『合理的配慮の提供 入門ハンドブック』

には、コミュニケーションの取り方の例を記載し、分かりやすく解説している。

法律で義務付けされたことに意義があるが、それを社会に受け入れないと意味がない。「さがすたいる」のように、みんなが自然と支え合う社会をつくりたい。出前講座や電話相談も用意している。